



**IBM Access Connections  
デプロイメント・ガイド  
バージョン 3.3x**

*日付: 2004年11月2日*

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原 典： IBM Access  
Connections Deployment Guide  
Version 3.3x

発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2004.11

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体\*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注\* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、  
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2004. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2004

---

## まえがき

本書は、IT 管理者、または IBM® Access Connections を組織内のコンピューターにデプロイする担当者を対象としています。本書は、IBM Access Connections を 1 台以上のコンピューターにインストールするために必要な情報を提供することを目的としています。同ソフトウェアのライセンスが各ターゲット・コンピューターで有効であることが条件となります。IBM Access Connections アプリケーションにはアプリケーション・ヘルプが備わっており、管理者およびユーザーはこのヘルプを参照して、このアプリケーションの使用法を確認できます。

IBM ThinkVantage™ テクノロジーおよび付属のデプロイメント・ガイドは、IT プロフェッショナルを対象として、IT プロフェッショナル特有の問題を念頭に置いて開発されています。ご提案やご意見がありましたら、IBM 認定営業担当員にご連絡ください。TCO の削減に役立つテクノロジーの詳細、および本書の定期的な更新情報を確認するには、Web サイト <http://www.pc.ibm.com/us/think/thinkvantagetech.html> にアクセスしてください。



# 目次

まえがき . . . . .	iii
<b>第 1 章 概説 . . . . .</b>	<b>1</b>
機能 . . . . .	1
<b>第 2 章 Access Connections の使用 . . . . .</b>	<b>3</b>
接続状況の表示 . . . . .	3
ロケーション プロファイル、設定値、および時刻を 保管する方法、およびヘルプ・デスクへの電話を減ら す方法 . . . . .	4
モバイル・ユーザーのワイヤレス LAN 接続を容易に する機能 . . . . .	5
WLAN を拡張するワイヤレス接続機能 . . . . .	6
クライアントが接続を維持するために役立つ機能 . . . . .	7
管理を容易にする新しいプロファイル・デプロイメン ト機能の利用 . . . . .	7
ネットワーク接続の問題の診断 . . . . .	9
<b>第 3 章 Access Connections のデプロ イに関する考慮事項 . . . . .</b>	<b>11</b>
デプロイメントの要件および仕様 . . . . .	11

<b>第 4 章 Access Connections のデプロ イメント . . . . .</b>	<b>13</b>
Access Connections のデプロイメント機能 . . . . .	13
IBM Access Connections のインストール . . . . .	13
統合 IBM Access Connections パッケージのイン ストール . . . . .	13
スタンドアロン IBM Access Connections のイン ストール . . . . .	14
管理者機能を使用可能にする . . . . .	14
管理者機能を使用する . . . . .	15
新規イメージのインストールを準備する . . . . .	20
Access Connections ロケーション プロファイルをリ モート側でデプロイする . . . . .	21
無人デプロイメント . . . . .	22
在席デプロイメント . . . . .	22
<b>付録. 特記事項. . . . .</b>	<b>25</b>
IBM 以外の Web サイト . . . . .	26
商標 . . . . .	26



---

## 第 1 章 概説

IBM Access Connections は、ワイヤレス LAN などさまざまなネットワーク接続の構成を援助する接続支援プログラムです。ユーザーは、ロケーション プロファイルを作成し、管理できます。ロケーション プロファイルは、自宅や職場など特定の場所からクライアント・コンピューターをネットワークに接続するために必要な、ネットワークとインターネットの構成設定値を保管するために役立ちます。モデム、有線ネットワーク・アダプター、ブロードバンド・デバイス (DSL、ケーブル・モデム、または ISDN)、またはワイヤレス・ネットワーク・アダプターを使用して、ネットワーク接続を行うことができます。仮想プライベート・ネットワーク (VPN) 接続もサポートされます。コンピューターをさまざまな場所に移動するたびにロケーション プロファイルを切り替えることによって、Access Connections はユーザーをネットワークに素早く簡単に接続でき、手動でネットワーク設定値を再構成する必要はありません。ロケーション プロファイルは、高度なセキュリティー設定、デフォルト・プリンター、および自動アプリケーション起動をサポートします。

Access Connections には、イーサネット接続とワイヤレス LAN 接続の自動ロケーション切り替えをサポートする機能があります。

---

## 機能

Access Connections には、次の機能が組み込まれています。

- **新規ロケーション プロファイルの作成**

Access Connections には、ロケーション プロファイルの作成に役立つウィザードがあります。ロケーション プロファイルは、さまざまなタイプのネットワークに接続するために必要な設定値をすべて定義します。Access Connections を始動すると、デフォルトで「Connection Status (ロケーション ステータス)」ウィンドウが開きます。

- **ロケーション プロファイルと接続状況の表示**

「Connection Status (ロケーション ステータス)」ウィンドウを使用して、Access Connections 内で定義したそれぞれのロケーション プロファイルに関連するネットワーク接続の状況を表示でき、ロケーション プロファイルを切り替えることができます。このウィンドウを開くと、ネットワーク接続の状況と、現在適用されているロケーション プロファイルのコンポーネントの状況が表示されます。

- **ロケーション プロファイル間の切り替え**

Access Connections には、ロケーション プロファイルを変更する機能があります。リストから別のロケーション プロファイルを選択して接続するだけで、プロファイルを切り替えることができます。進行標識ウィンドウに、接続の状況が表示されます。接続が失敗した場合は、接続の修正に役立つボタンが表示されません。

- **ワイヤレス・ネットワークの検索**

Access Connections は、ワイヤレス・アダプターの範囲内にあるワイヤレス・ネットワークを検索できます。この機能は、移動中や公共の場所にいるときに、使用可能なワイヤレス・ネットワークがあるかどうか分からない場合に便利です。検出されたすべてのワイヤレス・ネットワークへの接続を試行でき、接続の試行が成功した場合は、検出されたワイヤレス・ネットワーク名とデフォルト設定値を使用して、ワイヤレス用のロケーション プロファイルが新規に作成されます。適切な設定値が分かっている場合は、検出されたワイヤレス・ネットワーク用のロケーション プロファイルを手動で作成することもできます。

- **ロケーション プロファイルの自動切り替え**

現在適用されているロケーション プロファイルに関連したネットワークが使用不可になった場合、Access Connections は使用可能なネットワークを検索し、マッチングするロケーション プロファイルに自動的に切り替えることができます。ワイヤレスのロケーション プロファイルとイーサネットのロケーション プロファイルの間で、自動切り替えが可能です。ワイヤレス優先順位リストを設定することにより、ご使用のコンピューターが複数のワイヤレス・ネットワークの範囲内にある場合、または複数のロケーション プロファイルが同じワイヤレス・ネットワーク名を使用している場合に、どのワイヤレス・ロケーション プロファイルをアクティブにするか定義できます。

- **ロケーション プロファイルのインポートとエクスポート**

Access Connections を使用して、別々のコンピューター間でロケーション プロファイルを簡単に共有できます。また、ネットワーク管理者によって作成されたロケーション プロファイルをインポートすることもできます。

- **システム・トレイ・アイコンの使用**

システム・トレイに表示される Access Connections のアイコンを使用して、アプリケーションを起動したり、現行ロケーション プロファイルの状況を表示したり、プロファイルを切り替えたりすることができます。

- **リモート・デプロイメント用のロケーション プロファイルの作成 (管理者専用)**

Access Connections の管理者は、Access Connections をクライアント PC 上で使用するためのロケーション プロファイルを定義できます。



## 第 2 章 Access Connections の使用

この章では、Access Connections の機能を使用する方法を説明します。

### 接続状況の表示

「Connection Status (ロケーション ステータス)」ウィンドウを使用して、クライアント・ユーザーはすべてのリンクのネットワーク接続を確認できます。またクライアント・ユーザーは、管理者が問題を診断して訂正できるように、リモート側の管理者に信頼性のある状況情報を提供できます。1 つのウィンドウに、接続に関する重要な情報を分かりやすく表示され、ユーザーと管理者が接続を確立して維持するために役立ちます。

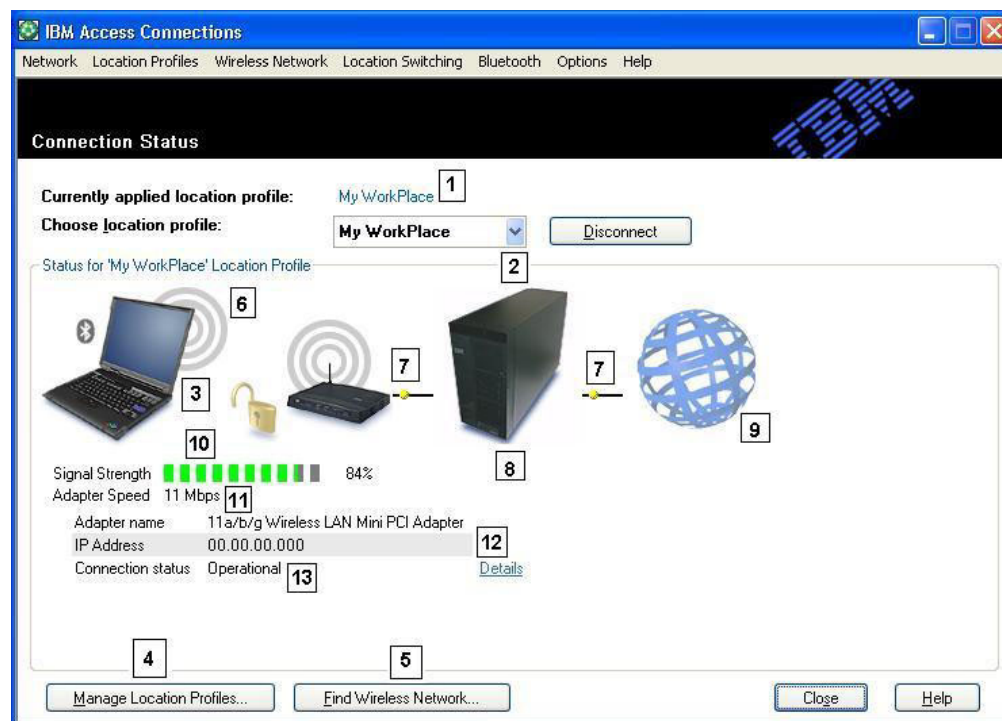


図 1. IBM Access Connections の「Connection Status (ロケーション ステータス)」ウィンドウ

1. 現在使用中のロケーション
2. ロケーションの選択
3. クライアント・コンピューター
4. 「Manage locations (プロファイル管理)」ボタン
5. 「Find Wireless Network (ワイヤレス ネットワークの検索と接続)」ボタン
6. ネットワーク接続デバイス
7. リンク
8. ネットワーク・サーバー/ゲートウェイ
9. インターネット

10. シグナル強度インディケータ
11. データ転送速度
12. IP アドレス
13. 接続状況

---

## ロケーション プロファイル、設定値、および時刻を保管する方法、およびヘルプ・デスクへの電話を減らす方法

ネットワーク接続が使用可能なほとんどすべての場所で、接続に必要な設定値の大部分を含むロケーション プロファイルを作成できます。プロファイルの設定後、Access Connections 上でプロファイルを簡単に切り替えることができます。対応可能な最高接続速度に応じて、ワイヤレス接続と有線接続のプロファイルを自動的に切り替えるように設定できます。プロファイルの設定により、ロケーションごとにデフォルト・プリンターを変更したり、VPN をオンにしたり、アプリケーションを起動したりできます。さらに Access Connections は、Wi-Fi Protected Access、WEP、802.11x、Cisco LEAP などのワイヤレス・セキュリティの管理にも役立ちます。プロファイルを中央で管理して、デプロイメントを単純化することもできます。

IBM Access Connections ソフトウェアは、新規にご購入の IBM ThinkPad® に付属しています。IBM Access Connections と互換性のある ThinkPad モデルのリストは、<http://www-306.ibm.com/pc/support/site.wss/migr-4zlnjb.html#ac> にあります。現在、Access Connections ソフトウェアと類似した機能をもつ他のソフトウェア・ユーティリティは数多く存在し、通常はネットワーク・アダプターに付属しています。Intel™ PROSet や Cisco Aironet Client Utility (ACU) のようなユーティリティは、どちらも構成を制御するプロファイル切り替え機能を備え、関連した WLAN アダプターの管理が可能です。一方、Access Connections ソフトウェアは、LAN、WLAN、WAN (広域ネットワークまたはセルラー)、ダイヤルアップ、イーサネット接続のブロードバンド (DSL、ケーブル、ISDN) など、はるかに広範囲のハードウェア・アダプターを管理します。Access Connections ソフトウェアは、これらのネットワーキング・ハードウェアをすべてサポートするので、管理者が複数のクライアント構成ユーティリティの使用法を覚えて管理する必要がないことが主な利点です。

すべての WLAN 構成ユーティリティ、および Microsoft® Windows® XP の組み込み機能は、ネットワーク名、SSID、およびセキュリティ・セットアップ (WEP 鍵の定義など) の設定値を指定するプロファイルの作成機能を備えていますが、ネットワーキングとインターネットの設定値をロケーション別に制御する機能を組み込んでいるソフトウェアは、Access Connections のみです。従来これらの設定値は、Windows 内で複数の機能、ウィンドウ、およびユーティリティを使用して設定されてきました。これらの設定値には、次のものがあります。

- 固定 IP アドレス、または動的ホスト構成プロトコル (DHCP)
- 自動ドメイン・ネーム・システム (DNS)、または明示的な DNS アドレスと DNS サフィックス
- Internet Explorer (IE) のホーム・ページとプロキシの設定
- ファイル共有とプリンター共有の使用可能/使用不可
- インターネット接続ファイアウォール

- Windows デフォルト・プリンター
- 選択した仮想プライベート・ネットワーク (VPN) の自動起動
- その他の実行可能ファイルの自動起動

Access Connections ソフトウェアを使用しなければ、ユーザーはロケーションのネットワーク接続をセットアップするために、はるかに複雑な手順を行う必要があります。たとえば、職場と自宅の両方でイーサネット接続を使用する在宅勤務者のケースを考えてみましょう。職場では、ユーザーはインターネットをブラウズするために固定 IP アドレスと明示 DNS 設定を使用し、プロキシ・サーバーを使用する必要があります。一方、自宅ではケーブル・モデムが IP アドレスを動的に割り当て (DHCP モード)、ユーザーは明示 DNS 設定やプロキシ・サーバーを必要としません。自宅で ThinkPad を使用するには、ユーザーは Windows ネットワーク・プロパティを変更して、DHCP と自動 DNS を使用可能に設定する必要があります。さらにユーザーは、IE のツール・オプションでプロキシ設定をオフにしなければ、インターネットにアクセス不能になります。

ユーザーが職場に戻ったときは、これらのパラメーターを再定義しなければなりません。ネットワーク・プロパティを固定 IP アドレスと明示 DNS 設定に戻す必要があります。このためには、長い番号のストリング、つまり IP アドレスを関連フィールドに入力しなければなりません。また、インターネット・ブラウズを再び可能にするには、プロキシの名前などのプロキシ・サーバー・パラメーターを Internet Explorer に再入力する必要があります (「Tools (ツール)」→「Options (オプション)」。通常、このようなネットワーク設定には、平均的な PC ユーザーのレベルを超える技術知識が必要です。すべてのロケーションでこれらの設定値を手動で変更する作業は間違いやすく面倒で、ヘルプ・デスクに電話をする必要が生じることもあり、ユーザーは何度もフラストレーションを感じる結果になります。

Access Connections ソフトウェアを使用する場合、この同じ在宅勤務者のケースでは、自宅用に 1 つのプロファイル、オフィス用にもう 1 つのプロファイルを設定します。マウスをクリックするだけで、主要な設定値とパラメーターを変更できるので、ユーザーは設定値を操作することなくすぐに仕事に戻ることができます。この移行はシームレスで、ユーザーは職場と自宅の間で ThinkPad を簡単に移動し、ネットワーク接続を容易に再設定できます。Access Connections ソフトウェアは、ロケーション プロファイルの使用によってこのことを可能にしています。このプロファイルには、ハードウェア・アダプターの設定値だけでなく、関連したおびただしい数のネットワーキングやインターネットの設定値が含まれています。結果として、ユーザーの生産性が向上し、フラストレーションが軽減され、またヘルプ・デスクなどのテクニカル・サポートに電話する回数と時間が減るので、潜在的なコストも削減されます。

---

## モバイル・ユーザーのワイヤレス LAN 接続を容易にする機能

ワイヤレス接続は、ThinkPad ユーザーの機動性に不可欠な要素です。Access Connections には、ワイヤレス LAN 接続を迅速、簡単にすることを目的とした機能がいくつかあります。たとえば、ユーザー・インターフェースにあるボタン「**Find Wireless Network (ワイヤレス ネットワークの検索と接続)**」を使用すれば、ユーザーは WLAN ネットワークの検索を手動で開始できます。ユーザーがこのボタンを選択すると、Access Connections ソフトウェアは範囲内にあるアクティブなワイヤレス・アクセス・ポイントをすべて検出し、リストします。オープンまたは暗号化

されていない接続が使用可能な場合は、新しく検出されたアクセス・ポイントに基づいたロケーション プロファイルをすぐに作成して接続できます。この機能により、モバイル PC ユーザーは空港、ホテル、喫茶店などの場所で公衆 WLAN 接続を検索し、ワイヤレス接続を行うことができます。幅広い WLAN アダプターのサポートと、新しいワイヤレス LAN ネットワークの検索機能のほかに、Access Connections ソフトウェアは次の機能を実行します。

- WEP、IEEE 802.1x、Cisco LEAP、Wi-Fi Protected Access (WPA) など、ワイヤレス LAN のセキュリティー用の設定を制御します。また、VPN クライアントをロケーション プロファイルに関連付けることができます。これらの機能はすべて、ご使用の PC と、関連付けられた先のワイヤレス・アクセス・ポイントとの間でワイヤレス・リンクを保護するための代替メカニズムを提供します。これらの機能は WLAN へのアクセスを制御するために使用され、データが流れた後は、プライバシーのために暗号化を使用してデータを保護します。
- マルチアダプター・プロファイル (有線アダプターとワイヤレス・アダプターの設定値が入ったプロファイル) を使用できるので、ユーザーは同じロケーションで高速の有線ネットワーク接続からワイヤレス接続に切り替えることができます。たとえば、勤務中に、自分のデスクでは 100 Mbps イーサネット (有線) 接続を使用します。デスクから離れて会議に出席するときには、イーサネット・ケーブルを切り離して、ご使用の ThinkPad をワイヤレス範囲内の会議室に持っていくことができます。会議室では、Access Connections ソフトウェアがイーサネット接続の不在を自動的に検出し、ワイヤレス接続を検知して使用可能にします。オフィスに戻ってイーサネット・ケーブルを再接続すると、Access Connections ソフトウェアはご使用のコンピューターを正しい有線ネットワーク設定に戻します。Access Connections はこのマルチアダプター機能を拡張し、イーサネットとワイヤレスの切り替えだけでなく、イーサネット相互間での切り替えにも対応しています。イーサネット相互間での切り替えは、たとえば職場ではプロキシ・サーバーを使用し、自宅ではプロキシ・サーバーを使用せず VPN クライアントを使用する必要がある場合に便利です。どちらのロケーションでも、接続はイーサネットですが、設定値は異なります。Access Connections ソフトウェアは、ネットワークとインターネットの設定値を自動的に変更します。
- マルチアダプター・プロファイルの中で、使用するアダプターに優先順位を付けることができます。これにより、優先順位の高いアダプターが接続を確立または維持できないときに限って、優先順位の低いアダプターが使用されるようになります。
- ThinkPad のバッテリー電力を節約するために、ワイヤレス LAN の無線機能を使用不可に設定できます。ワイヤレス・アダプターの無線機能は、使用していないときでも不必要な電源を大量に消費することがあります。ワイヤレス LAN の無線機能を使用不可に設定すれば、バッテリーの再充電が必要になるまで ThinkPad を長時間使用できます。

---

## WLAN を拡張するワイヤレス接続機能

Access Connections ソフトウェアは、ワイヤレス広域ネットワーク (WAN) およびパーソナル・エリア・ネットワーク (PAN) のテクノロジーである Bluetooth にも対応しています。3G セルラー・テクノロジーの導入により、ユーザーがオフィスから離れ、公衆 WLAN ホット・スポットの近くにいないときに、ネットワークへの高速ワイヤレス・アクセスを可能にする有効な代替機能として、ワ



ワイヤレス WAN サービスが登場しました。(ホット・スポットは、旅行者がインターネットや E メールへのワイヤレス接続を簡単に行うことができるように、空港、ホテル、喫茶店などに備わっているオープンな (セキュアでない) WLAN です)

Access Connections ソフトウェアは、複数のワイヤレス WAN PC カード・アダプターをサポートします。たとえば、ご使用の ThinkPad に Novatel Merlin C201 CDMA 1xRTT PC カードがインストールされていれば、ロケーション プロファイルを活動化して Sprint Enhanced PCS ネットワークへの接続を容易に制御できます<sup>1</sup>。このセルラー・ベースのワイヤレス・ネットワークは WLAN の代替になり、WLAN 接続が検出できない場所で多くの場合に使用でき、しかも高速です。

Bluetooth ワイヤレス接続の管理を支援するために、Access Connections には Bluetooth メニュー・バーがあります。このメニュー・バーを使用して、Bluetooth 無線機能をオフにしたり、Bluetooth セキュリティー・レベルを設定したりすることが簡単にできます。また、Bluetooth モデムを使用するロケーション プロファイル (DUN Bluetooth プロファイルを使用) を作成する機能もあります。Bluetooth セキュリティー・レベルは、このメニュー・バーから選択することも、Access Connections のシステム・トレイ・アイコンを左クリックして表示されるメニューから選択することもできます。Bluetooth 無線機能をオフにすると、バッテリー電力が節約されるので、再充電が必要になるまで ThinkPad のバッテリーを長時間使用できます。Access Connections ソフトウェアを使用すれば、これらの作業を ThinkPad 上で簡単に行うことができます。

---

## クライアントが接続を維持するために役立つ機能

Access Connections ソフトウェアは、クライアントのために、メインのユーザー・インターフェースからアクセスできる使いやすいヘルプ・システムを提供しています。索引を使用して、職場での接続、リモート・ロケーションでの接続、その他の接続に関する問題などの標準トピックにすぐにアクセスできます。また、よくある質問と回答を説明するトラブルシューティング・ガイドも用意されています。さらに、ポイント・アンド・クリックによって簡単にアクセスできる便利な診断ツール、および標準の Windows TCP/IP ユーティリティを使用して、ユーザーは IP アドレスを ping (応答の検査) したり、IP 経路をトレースしたり、IP config 機能を使用して IP 接続の状況を確認したりすることができます。Access Connections ソフトウェアを使用しない場合、これらのツールにアクセスするには、通常はコマンド・プロンプトから面倒なコマンド行入力を使用する必要があります。Access Connections ソフトウェアを使用すれば、これらの便利な診断ツールにポイント・アンド・クリックによってアクセスできます。

---

## 管理を容易にする新しいプロファイル・デプロイメント機能の利用

Access Connections には、ロケーション プロファイルのデプロイメントを中央で管理できるようにする機能があります。この機能が登場するまでは、すべてのクライアント・ユーザーが各自でロケーション プロファイルをセットアップする必要がありました。Access Connections ソフトウェアがプロファイルの作成に必要な手順を

---

1. ワイヤレス・インターネット加入サービスが必要。付属していません。

案内しますが、設定値の入力 (特に、セキュリティに関連した設定値) はやはり面倒でした。この機能により、IT 管理者は次のことが可能です。

- ロケーション プロファイルを作成してハード・ディスク・イメージの一部として配布するか、すでにデプロイ済みのクライアント・システムにプロファイル・ファイルを送信することにより、ユーザーがプロファイルを個々にセットアップする時間を節約できます。
- システム内のすべてのプロファイルに対するポリシー (配布したプロファイルを変更または削除できるかどうかなど) を制御できます。これにより、ユーザーがプロファイルを誤って変更または削除することを防止でき、ヘルプ・デスクのサポートが不要になります。
- 配布制御リスト (ThinkPad のシリアル番号に基づいてプロファイルを選択的に配布する) を使用して、さまざまなデプロイメント・パッケージをインポートできるユーザーを制限する規則を設定できます。
- 許可された個人のみがロケーション プロファイルをインポートできるように、暗号化され、パスワードで保護されたセキュア・プロファイル・デプロイメント・パッケージを作成できます。プロファイルは、WEP 鍵や WPA TKIP PSK (Wi-Fi Protected Access Temporal Key Integrity Protocol 事前共有鍵) などのワイヤレス・セキュリティ・コンテンツを含んでいる場合があるので、この機能は重要です。

Access Connections ソフトウェアの標準インストールには、プロファイル配布機能は組み込まれていません。この機能を使用可能にするには、別のソフトウェア・ツールを使用する必要があります。IBM のお客様は、登録およびダウンロード専用の Web サイトからこのイネーブラー・ユーティリティを入手できます。イネーブラーを実行すると、Access Connections ユーザー・インターフェースに「Profile Distribution (プロファイルの配布)」という追加メニュー項目が作成されます。このプロファイル配布メニューの項目から、IT 管理者は配布するプロファイルを作成し、適切なユーザー・アクセス・ポリシーを設定します。選択したプロファイルに、暗号化を使用可能に設定したワイヤレス・プロファイルが含まれていれば、管理者はデプロイするワイヤレス・セキュリティ設定値を再入力するように促され、これにより管理者が WEP 暗号鍵などのセキュリティ設定値を知っているかどうかを確認されます。間違った WEP 鍵が入力された場合、その WEP 鍵はデプロイされますが、使用不可になります。

Access Connections ソフトウェアが提供するプロファイル・デプロイメント機能により、IT 管理者はワイヤレス・セキュリティの管理をきわめて容易に行うことができます。WEP セキュリティを使用する組織の多くは、WEP 暗号鍵を更新しないままにしています。その理由は単に、クライアント・ユーザー・ベース全体で WEP 鍵を更新する作業が複雑だからです。更新されない WEP 鍵の暗号化は解読される可能性があるため、このような運用は組織をリスクにさらす恐れがあります。Access Connections のプロファイル・デプロイメント機能により、システム管理者は WEP 鍵を含む新しいセキュリティ設定値をリモート側から変更し、デプロイできます。WEP 鍵を頻繁に変更すれば、システム管理者は WLAN 環境でセキュリティ・ブリーチが起こる可能性を大幅に低くすることができます。

IBM Access Connections は、プロファイルを使用して、さまざまなロケーションに応じたネットワーク・アダプター、および関連したネットワークング・パラメーターを定義することにより、ネットワーク接続を迅速、容易にするソフトウェアで

す。使いやすく管理しやすい Access Connections ソフトウェアは、TCO 削減と従業員の生産性向上に役立つ包括的なネットワーク接続ソリューションです。また、Access Connections のソフトウェア・プロファイル・デプロイメント機能により、システム管理者はプロファイルをそれぞれのクライアント上で個々にセットアップすることなく、プロファイルを中央で作成し、リモート側からクライアント・ユーザー・ベースにデプロイできます。この結果、ネットワーク接続の管理が合理化され、全体的な IT コストの削減につながります。

---

## ネットワーク接続の問題の診断

IBM Access Connections は、ユーザーがネットワーク接続を行うことができないときのために、新しいネットワーク診断機能をサポートしています。この機能は、接続状況の進行を詳細に表示し、疑われる障害の理由と推奨処置を判別します。場合によっては、Access Connections に備わっている自動修復ボタンを使用して、ネットワーク接続をリカバリーすることもできます。





---

## 第 3 章 Access Connections のデプロイに関する考慮事項

ユーザーが接続を試行するさまざまな場所、およびそのロケーションで使用可能な接続の種類に関する情報を収集すると、ユーザーがインポートして直ちに使用できる事前構成されたプロファイルを作成する上で役立ちます。初期イメージでデプロイできる作業の構成をプロファイルに取り込むことにより、サポート・コールの回数が減り、ユーザーは介入なしにネットワーク接続を即時に利用できます。

管理者機能は、Access Connections のバージョン 2.7 またはそれ以降で使用可能です。この機能により、Access Connections を企業環境で実行すると、ロケーションプロファイル、グローバル設定、および制御ポリシーを個人または個人のグループにデプロイするタスクが単純化されます。これらのプロファイルおよび設定値のデプロイメントは、初期システム・デプロイメント時にプリロード・イメージの一部として、またはシステムが現場に設置された後に標準のリモート・デプロイメントの方法を使用して実行できます。

---

### デプロイメントの要件および仕様

サポートされる IBM ThinkPad、ドライバー、および構成の最新リストは、<http://www-306.ibm.com/pc/support/site.wss/migr-4zlnjb.html#ac> にあります。



---

## 第 4 章 Access Connections のデプロイメント

クライアント・ユーザーに必要なロケーション プロファイルを作成した後、ロケーション プロファイルを新規作成、更新、または改訂して管理し、クライアント・コンピューターにデプロイすることもできます。

---

### Access Connections のデプロイメント機能

以下のリストは、IT 管理者が Access Connections をデプロイおよび管理する上で役立つ機能を示しています。

- IBM Access Connections 管理者プロファイル・デプロイメント機能用イネーブラーは、クライアント・ユーザー用に作成したロケーション プロファイルをデプロイするために必要です。イネーブラーは、下記のサイトで IT 専門家のみを対象に提供されています。

<http://www-3.ibm.com/pc/support/site.wss/document.do?Indocid=ACON-DEPLOY>

- 管理者は、ロケーション プロファイルを作成して、プリロード・イメージの一部として配布するか、クライアント・システムがデプロイされた後にインストールできます。
- 制御ポリシーを各プロファイルごとに設定できます。
- 配布制御リストを作成して、さまざまなデプロイメント・パッケージをインポートできるユーザーを制限できます。
- クライアント構成ポリシーを設定して、クライアント・コンピューターでの Access Connections の操作を構成できます。
- デプロイメント・パッケージは、暗号化され、パスワードで保護されているので、許可された個人のみがワイヤレス・セキュリティ情報 (たとえば WEP や静的パスワードなど) を含むロケーション プロファイルをインポートできます。

---

### IBM Access Connections のインストール

IBM Access connections は、IBM Access Connections ソフトウェアを含むバンドル・パッケージを使用するか、または IBM Access Connections ソフトウェア単独で (この場合、必要なドライバーはユーザーが別途インストールします) インストールできます。

#### 統合 IBM Access Connections パッケージのインストール

ユーザー対話を必要とせずに IBM Access Connections 3.0 以降をインストールするには、次の手順で行います。

1. Windows 2000 または Windows XP を始動し、管理特権を使用してログオンする。
2. Access Connections ドライバーをハード・ディスクに解凍する。
3. 「Start (スタート)」をクリックし、「Run (ファイル名を指定して実行)」をクリックする。
4. 次のコマンドを入力する。

SETUP.EXE /S

ソフトウェア・パッケージとインストール手順の説明は、  
[http://www.pc.ibm.com/us/think/thinkvantagetech/downloads\\_support.html](http://www.pc.ibm.com/us/think/thinkvantagetech/downloads_support.html) の Web サイトからダウンロードできます。そのページから、「**Software download and User's Guide (ソフトウェアのダウンロードとユーザーズ・ガイド)**」をクリックして、ソフトウェア・パッケージをダウンロードします。

## スタンドアロン IBM Access Connections のインストール

ユーザー対話を必要とせずに IBM Access Connections 3.0 以降をインストールするには、次の手順で行います。

1. Windows 2000 または Windows XP を始動し、管理特権を使用してログオンする。
2. Access Connections ドライバーをハード・ディスクに解凍する。
3. 「**Start (スタート)**」をクリックし、「**Run (ファイル名を指定して実行)**」をクリックする。
4. 次のいずれかのコマンドを入力する。
  - a. 自動的に再始動しないコンピューターの場合は、次のコマンドを入力する。  
SETUP.EXE -S -SMS
  - b. CD からインストールする場合は、次のコマンドを入力する。  
SILENT.BAT

ソフトウェア・パッケージとインストール手順の説明は、  
[http://www.pc.ibm.com/us/think/thinkvantagetech/downloads\\_support.html](http://www.pc.ibm.com/us/think/thinkvantagetech/downloads_support.html) の Web サイトからダウンロードできます。そのページから、「**Software download and User's Guide (ソフトウェアのダウンロードとユーザーズ・ガイド)**」をクリックして、ソフトウェア・パッケージをダウンロードします。

---

## 管理者機能を使用可能にする

Access Connections の管理者機能を使用可能にするには、最初に Access Connections 3.0 またはそれ以降をドナー・コンピューターにインストールする必要があります。

ワイヤレス・ネットワーク接続を使用するロケーション プロファイルをデプロイする場合、ドナー・コンピューターおよび受信側のコンピューターのワイヤレス・アダプターはロケーション プロファイルで定義される機能をサポートしている必要があります。たとえば、デプロイされたロケーション プロファイルが LEAP 認証用に構成されている場合、受信側システムのアダプターは LEAP 認証をサポートしている必要があります。

管理者機能を使用可能にするには、次のようにします。

1. 管理者機能イネーブラーを取得して、ロケーション プロファイルを作成するコンピューターに保管する。  
(<http://www-3.ibm.com/pc/support/site.wss/document.do?lnocid=ACON-DEPLOY>)
2. 「**Start (スタート)**」 → 「**Run (ファイル名を指定して実行)**」をクリックしてから、「**Browse (参照)**」をクリックする。ステップ 1 で保管した自己解凍型実行可能ファイルを選択します。

3. 「**OK**」をクリックする。これにより、イネーブラー・アプリケーションが C:\Program Files\Thinkpad\ConnectUtilities に抽出されます。
4. Access Connections のメイン・ウィンドウが開いている場合は閉じる。
5. 「**Start (スタート)**」 → 「**Run (ファイル名を指定して実行)**」をクリックしてから、C:\Program Files\Thinkpad\ConnectUtilities\AdmEnblr.exe と入力する。



図2. 「Enabler for Administrator Profile Deployment Feature (管理者プロフィール・デプロイメント機能用イネーブラー)」ウィンドウ

6. 「**Enable Administrator Feature (管理者機能を使用可能にする)**」を選択する。
7. 「**Exit (終了)**」を選択して、イネーブラーを閉じる。
8. Access Connections を開始する。

事前にコンピューターでプロファイルを作成していない場合、プロファイル作成ウィザードの初期ウィンドウが表示されます。少なくとも 1 つのプロファイルを作成した後に、Access Connections のメイン・ウィンドウを表示できます。「Profile Distribution (プロファイルの配布)」という名前のメニュー・バー項目が表示されます。

---

## 管理者機能を使用する

管理者機能を使用するには、次のようにします。

1. ユーザーが必要とするすべてのロケーション プロファイルを作成する。プロファイルを作成する際は、たとえば以下のニーズを考慮してください。
  - a. オフィス、ビルでの接続
  - b. 自宅での接続
  - c. 事業所での接続
  - d. 移動中の接続
  - e. ホット・スポットでの接続
2. ロケーション プロファイルを作成した後、「**Profile Distribution (プロファイルの配布)**」 → 「**Create Distribution Package (配布パッケージの作成)**」をクリックする。

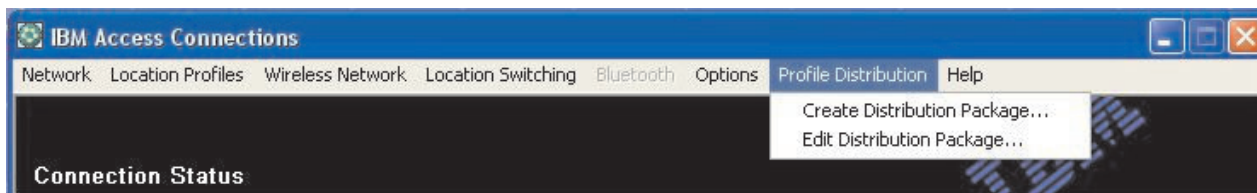


図3. プロファイルの配布

3. デプロイするロケーション プロファイルを選択する。図4 に示すように、選択した各ロケーション プロファイルごとに、適切なユーザー・アクセス・ポリシーを選択します。選択したプロファイルに暗号化が使用可能にされたワイヤレス・プロファイルが含まれる場合、管理者にワイヤレス設定を再入力するようプロンプトが出され、機密データが公開されていないことを確認します。

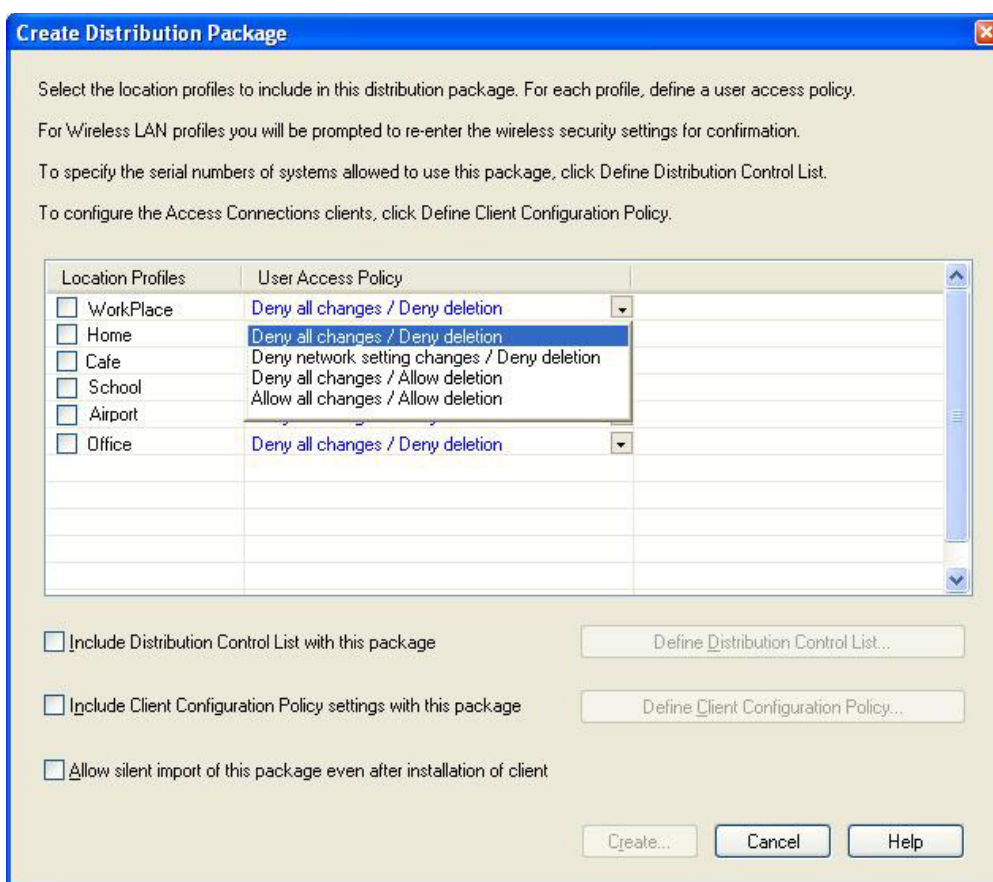


図4. 「Create Distribution Package (配布パッケージの作成)」 ウィンドウ

アクセス制御ポリシーは、特定のプロファイルを対象とする制約事項を定義します。アクセス制御ポリシーは、プロファイルごとに定義でき、以下の値を持つことができます。

- a. **Deny all changes / Deny Deletion (すべての変更を禁止/削除を禁止):** ユーザーは、プロファイルで変更、コピー、または削除などの操作を実行することができません。

- b. **Deny network setting changes / Deny deletion (ネットワーク設定の変更を禁止/削除を禁止):** この場合、プロファイルのネットワーク設定値を変更、削除、またはコピーできません。変更不可能なパラメーターは TCP/IP 設定、拡張 TCP/IP 設定、およびワイヤレス設定です。プロファイルを削除できません。
- c. **Deny all changes /Allow deletion (すべての変更を禁止/削除を許可):** ユーザーはプロファイルを変更またはコピーできません。ただし、ユーザーはプロファイルを削除することができます。
- d. **Allow all changes / Allow deletion (すべての変更を許可/削除を許可):** ユーザーは、プロファイルを変更、コピー、および削除できます。

**制限:** 上記の制御ポリシーは、管理者レベルの権限を持つローカル・ユーザーに適用できます。ローカル・ユーザーが制限ユーザーとして構成されている場合、より厳しい制約事項がオペレーティング・システムにより付与されます。制限ユーザーは、ダイヤルアップ接続タイプのプロファイルのみを作成でき、管理者が作成したプロファイルを変更、コピー、または削除できません。Access Connections のグローバル設定により、制限ユーザーは管理者が作成したプロファイル間で切り替えることができます。

- 4. 「**Allow silent import of this package even after installation of client (SIG ファイルにパスフレーズが含まれる場合、クライアント システム上でロケーション プロファイルのサイレント インポートを許可する)**」チェック・ボックスにチェックマークが付いていると、IT 管理者は任意のクライアント・コンピューターに対して、\*.LOA ファイルのサイレント・エクスポートを行うことができます。クライアント・コンピューターに実際にログオンしているユーザーの特権は関係ありません。その後で、パッケージ (\*.LOA ファイルと \*.SIG ファイルからなる) を Access Connections のインストール・フォルダーにコピーできます。Access Connections を次回に実行すると、パッケージが検出され、パッケージのサイレント・インポートが行われます。
- 5. **オプション:** 管理者は、コンピューターのシリアル番号に基づいて配布制御リストを定義できます。この配布の方法により、管理者は個別のシリアル番号を入力するか、さまざまなロケーション プロファイルを必要とする、さまざまなユーザー組織を表す、さまざまなグループのシリアル番号を作成できます。このオプションのステップは、プロファイル・ロケーション・ファイル (\*.LOA) がリモート・ユーザーに手動インポート用に送信される際、ファイルの配布を保護することを主な目的としています。配布制御リストにより、個人が適切なネットワーク接続プロファイルのみをインストールすることが保証されます。このリストは、無許可のネットワーク・アクセスを減らすために役立ちます。



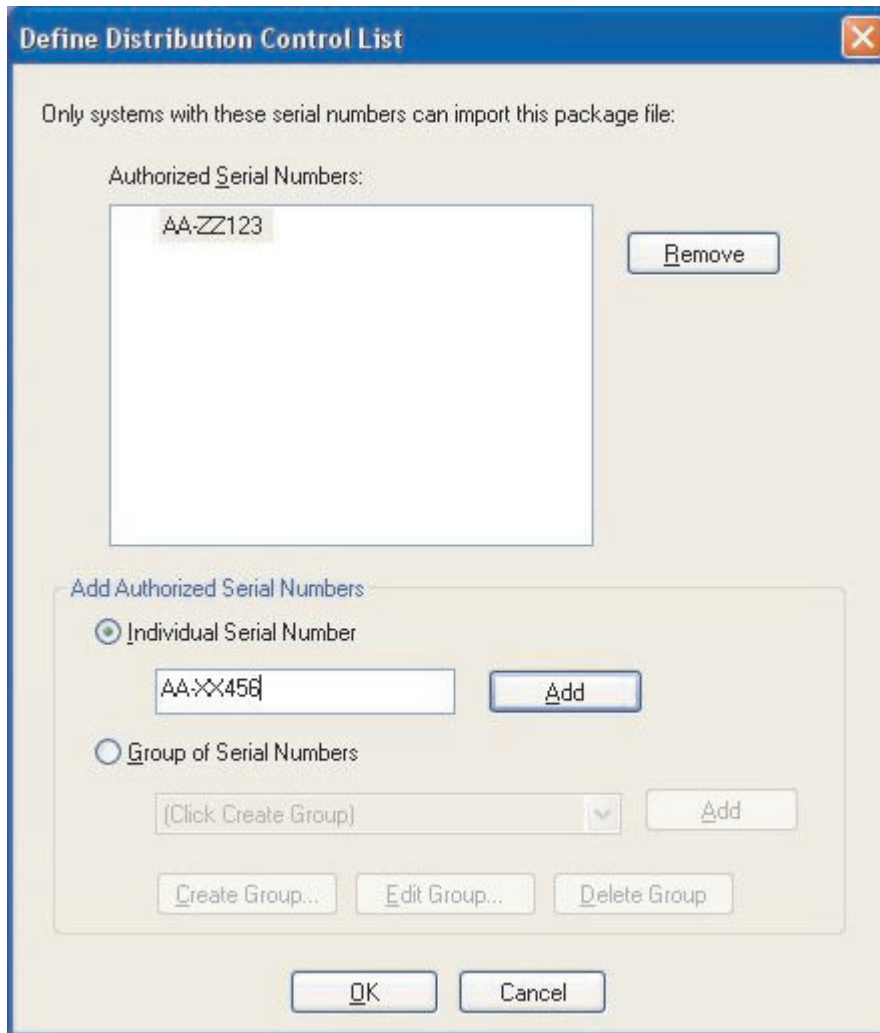


図 5. 配布制御リストの定義

シリアル番号のグループを作成する場合、シリアル番号のグループを含むフラット・テキスト・ファイルをインポートできます。ファイルは、各行に単一のシリアル番号が含まれているようにフォーマット設定されている必要があります。これらのテキスト・ファイルは、管理者機能を使用して作成されたリストをエクスポートして、または資産管理システムにそのような機能があれば使用して作成できます。これにより、多数のコンピューターへの配布をシリアル番号に基づいて制御するプロセスが単純化されます。



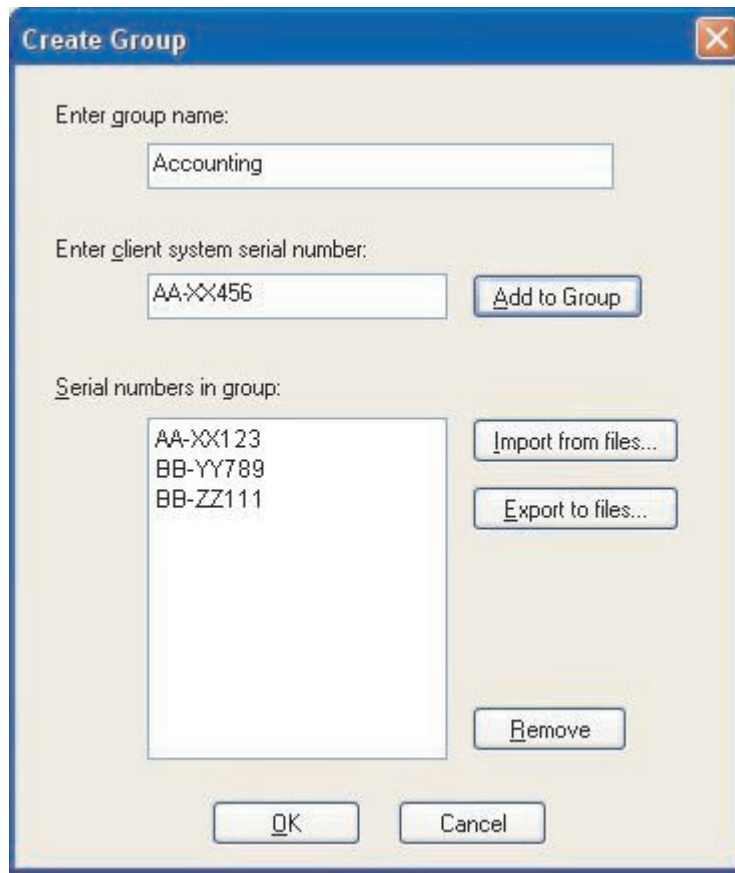


図6. グループの作成

6. オプション: \*.LOA ファイルがインポートされた後に、ユーザーに対して使用可能になる機能を制御するクライアント構成ポリシーを定義できます。

注: 「Do not allow clients to become an administrator (クライアントが管理者になることを許可しない)」の横のボックスにマークを付けると、ユーザーは Access Connections のインストール時に管理者機能を使用可能にできなくなります。この設定は、規模の大きな企業環境で IT 管理者が他者によるネットワーク・アクセス・プロファイルの作成および配布を防ぎたい場合に役立ちます。

クライアント構成ポリシーのパネルでも、管理者は Access Connections のグローバル設定を設定できます。エンド・ユーザーが制限ユーザーのアカウントを使用してコンピューターにログオンした場合、管理者は「Global Setting (グローバル設定)」の下にある「Allow all users of this system to switch to any existing location profile (このシステムのすべてのユーザーが既存のロケーション プロファイルに切り替えることを許可する)」設定を有効にする必要があります。それ以外の場合、ユーザーは管理者に提供された事前構成されたロケーション プロファイル間で切り替えることができなくなります。

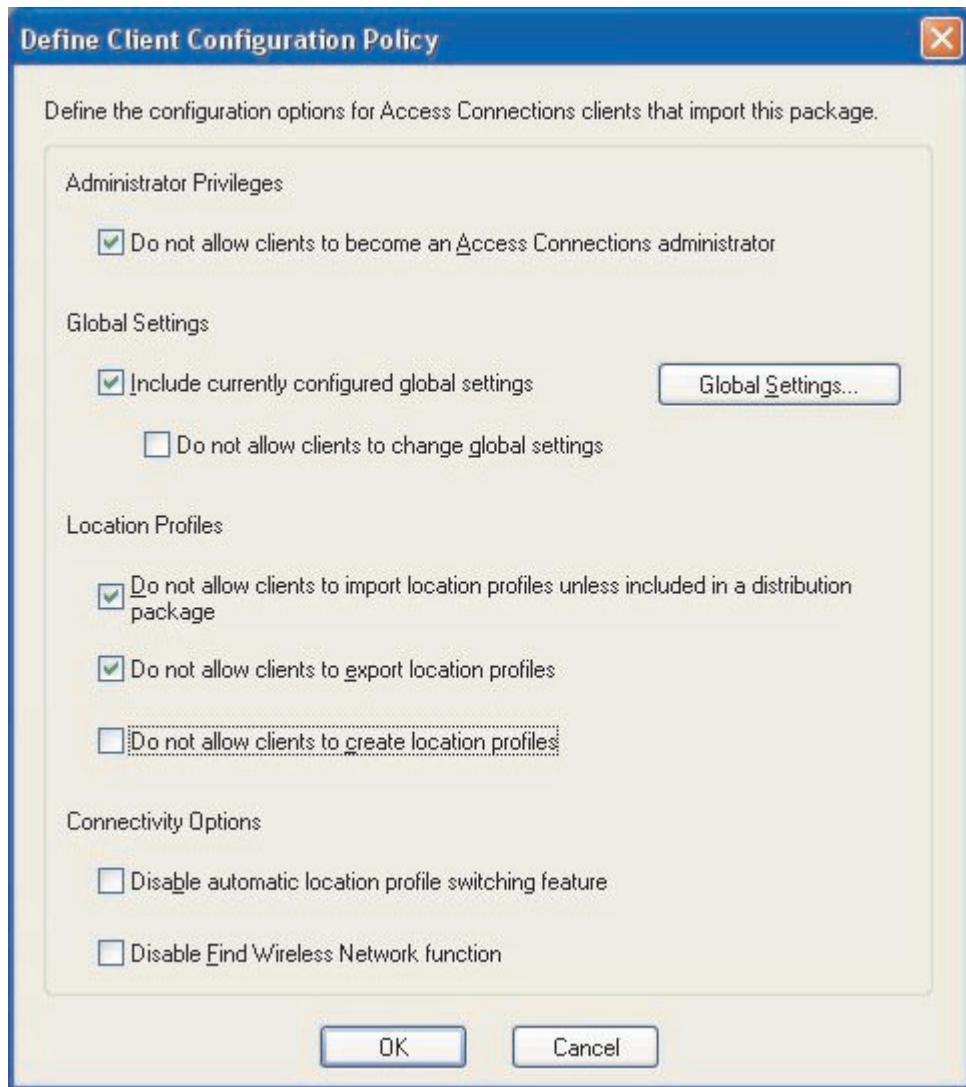


図7. クライアント構成ポリシーの定義

7. 「Define Client Configuration Policy (クライアント構成ポリシーの定義)」ウィンドウで、すべての必要な設定を指定した後に「**Create (作成)**」をクリックする。パスフレーズ・プロンプトが表示されます。パスフレーズは、\*.LOA ファイルを暗号化するために使用されます。セクション 4.4 で説明したように、Access Connections アプリケーションがインストールされている場合のみ、またはパスフレーズがユーザーに提供されている場合のみ、ファイルがインポートされます。
8. \*.LOA ファイルに名前と場所を割り当てる。  
**重要:** イメージのデプロイメントの場合、\*.LOA ファイルは Access Connections インストール・ディレクトリー (C:\PROGRAM FILES\THINKPAD\CONNECTUTILITIES) に存在している必要があります。

## 新規イメージのインストールを準備する

Access Connections ソフトウェアをデプロイするには、次のようにします。

1. Access Connections を、デプロイされるシステムのグループから選んだサンプル・システムにインストールする。
2. 14 ページの『管理者機能を使用可能にする』で説明されている方法で、管理者機能イネーブラーを開始する。
3. 15 ページの『管理者機能を使用する』で説明されている方法で、ロケーションプロファイルを作成する。
4. 15 ページの『管理者機能を使用する』で説明されている方法で、デプロイメント・パッケージを作成する。
5. ロケーション・デプロイメント・パッケージを作成する際、「Client Configuration Policy (クライアント構成ポリシー)」ウィンドウで「**Do not allow clients to become administrator (クライアントが管理者になることを許可しない)**」の横のチェック・ボックスにマークを付ける。
6. 15 ページの『管理者機能を使用する』で作成した \*.loa および \*.sig ファイルを、他のコンピューター、取り外し可能メディア、またはネットワーク・ドライブに保管して、デプロイメント・パッケージのコレクションを生成する。

注: \*.sig ファイルには、デプロイメント・パッケージの生成に使用されるパスワードから生成される署名データが含まれます。このファイルは、Access Connections のインストール・ディレクトリー (通常は C:\PROGRAM FILES\THINKPAD\CONNECTUTILITIES) にあります。

7. Access Connections をプロセスに応じてイメージ作成システムにインストールする。
  - イメージ作成に使用しているコンピューターが、ロケーション プロファイルを作成したコンピューターと同じである場合、イメージ作成のコンピューターから Access Connections をアンインストールして、管理者機能を除去します。Access Connections をアンインストールされた状態でイメージに追加します。単純に、セットアップ・ファイル、ステップ 6 で保管した \*.loa ファイルおよび \*.sig ファイルを格納するディレクトリーを作成します。
  - 新しい DWORD 値を、レジストリーの HKLM\SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion\RunOnce の下に追加します。
  - 値に ACinstall という名前を付け、<Access Connection セットアップ・ファイルがあるパス>\setup.exe -s に設定します。
8. クライアント・コンピューターの初回ブート時に、Access Connections のサイレント・インストールが行われ、自動的に起動します。Access Connections は \*.loa ファイルのサイレント・インポートを行います。\*.loa ファイルおよび \*.sig ファイルは削除されます。

---

## Access Connections ロケーション プロファイルをリモート側でデプロイする

Access Connections をリモート側でデプロイするには、無人デプロイメントと在席デプロイメントの 2 つの方法があります。以下のセクションでは、それぞれのリモート・デプロイメントの方法を説明します。

## 無人デプロイメント

20 ページの『新規イメージのインストールを準備する』で説明した方法でコンピューターをデプロイした後、管理者はシステム管理アプリケーション (たとえば、SMS、Tivoli® など) を使用して、更新済みの \*.loa ファイルをユーザーにプッシュして、下記の条件が満たされる場合は Access Connections のサイレント・インポートを行うことができます。

1. \*.loa ファイルが、クライアント・コンピューターにデプロイされた最初のビルドで使用された正確なパスワードを使用して作成されている。
2. \*.loa ファイルが、Access Connections インストール・ディレクトリーにある。

コンピューターを再始動するか、システム・トレイ・アイコン (QCTRAY.EXE) を閉じてから、再度 Access Connections を起動して、Access Connections を再始動してください。

## 在席デプロイメント

Access Connections ロケーション プロファイルをリモート・ユーザーに、または既にデプロイされているコンピューターにデプロイするには、次のようにします。

1. 管理者機能を使用して、リモート・ユーザーが必要とするプロファイルを含む \*.loa ファイルを作成する。
2. エクスポート処理中に、リモート・ユーザーのコンピューターのシリアル番号を指定して、\*.loa ファイルを暗号化するために使用するパスワードを設定する。
3. パスワードおよび \*.loa ファイルを、個別の電子メール・メッセージ (1 つはパスワード用、もう 1 つは \*.loa ファイル用) でセキュアなメディアを介してユーザーに送信する。
4. ユーザーに対する以下の指示を準備する。
  - a. \*.loa ファイルをハード・ディスクに展開する。
  - b. Access Connections を開く。(「Start (スタート)」メニューのセットアップ方法によっては、Access Connections エントリーへのナビゲーション手順を指示する必要があります。)
  - c. 「**Manage Location Profiles (プロファイル管理)**」をクリックしてから、「**Options (オプション)**」→「**Import/Export (インポート/エクスポート)**」をクリックする。
  - d. 「**Import Location Profiles (ロケーション プロファイルのインポート)**」をクリックする。
  - e. ファイルの種類ドロップダウン選択を使用して、プロファイル配布ファイル (\*.loa) ファイルを選択する。
  - f. ステップ 4a で展開した \*.loa ファイルを保管した場所を参照する。
  - g. 保管した \*.loa ファイルを選択してから、「**Open (開く)**」をクリックする。
  - h. Access Connections はコンピューターのシリアル番号をチェックして、\*.loa ファイルがコンピューターと一致することを確認します。\*.loa ファイルのシリアル番号とコンピューターのシリアル番号が一致しないというメッセージ

が表示される場合、\*.loa ファイルを送信した管理者に連絡してください。コンピューターの正確なシリアル番号が含まれる、改訂された \*.loa ファイルが必要になります。

- i. シリアル番号が一致する場合、管理者から別の電子メールで提供されたパスワードを入力するようプロンプトが出されます。正確なパスワードを注意深く入力します。該当する場合は、大文字と小文字を区別します。次に Enter を押します。
5. ユーザーがパスワードを正確に入力して **Enter** を押すと、Access Connections は \*.loa ファイルを暗号化解除して、ロケーション プロファイルと、設定されたグローバル設定とアクセス制御をインポートします。\*.loa ファイルは自動的に削除されます。



---

## 付録. 特記事項

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-0032  
東京都港区六本木 3-2-31  
IBM World Trade Asia Corporation  
Licensing

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書で説明される製品は、誤動作により人的な傷害または死亡を招く可能性のある移植またはその他の生命維持アプリケーションで使用されることを意図していません。本書に記載される情報が、IBM 製品仕様または保証に影響を与える、またはこれらを変更することはありません。本書の内容は、IBM またはサード・パーティーの知的所有権のもとで明示または黙示のライセンスまたは損害補償として機能するものではありません。本書に記載されるすべての情報は、特定の環境において得られたものであり、例として提示されます。他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

---

## IBM 以外の Web サイト

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

---

## 商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

IBM  
ThinkPad  
ThinkCentre  
Tivoli

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Intel、Intel Inside (ロゴ)、MMX および Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。